

静岡県 の 地震 活 動

第 37 卷 第 8 号
2026 年 9 月 10 日
静岡地方気象台

2026 年 8 月の地震活動概況

静岡県で震度 1 以上を観測した地震は 4 回あり、このうち茨城県南部の地震により震度 3 を観測しました。

静岡県内の最大震度別地震回数（2026 年 8 月 1 日～31 日）

震度	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	合計
地震回数	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4

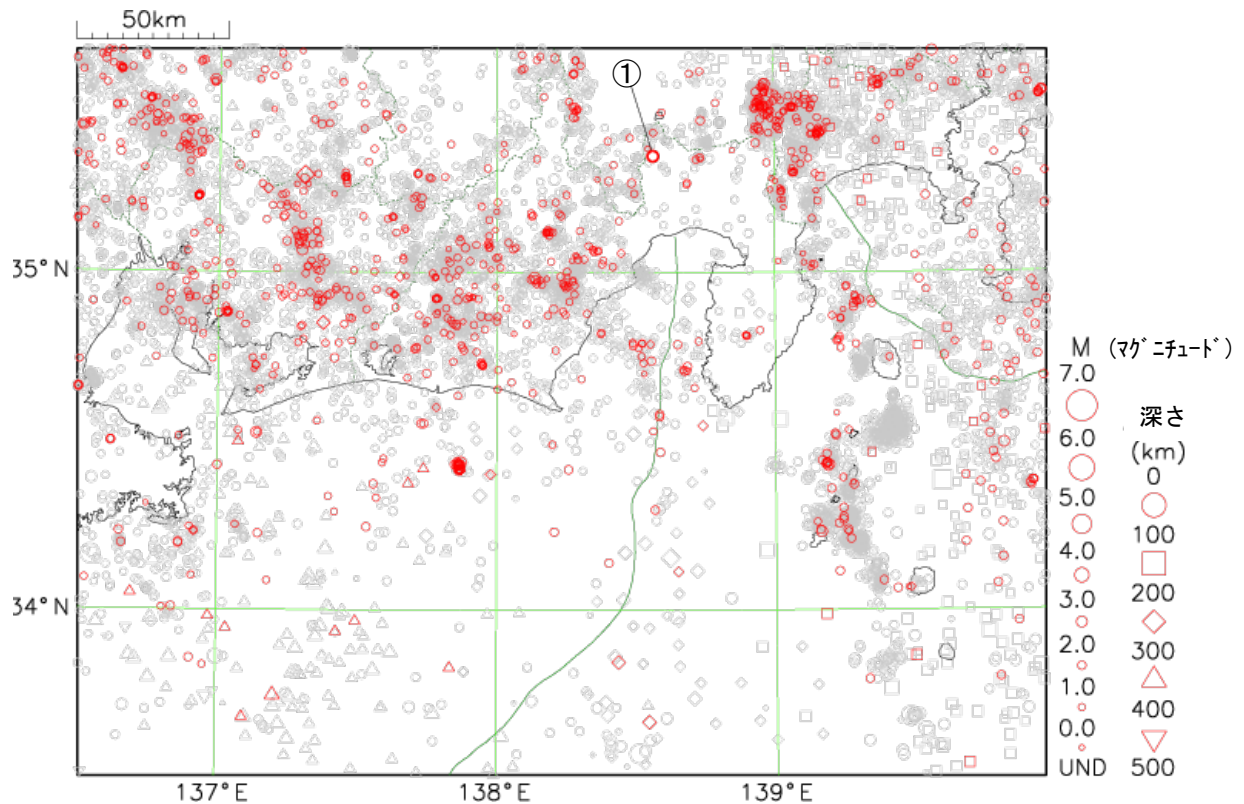


図 1 静岡県とその周辺の震央分布図（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日、深さ 0～500 km、M すべて）2026 年 8 月の地震を赤色で表示

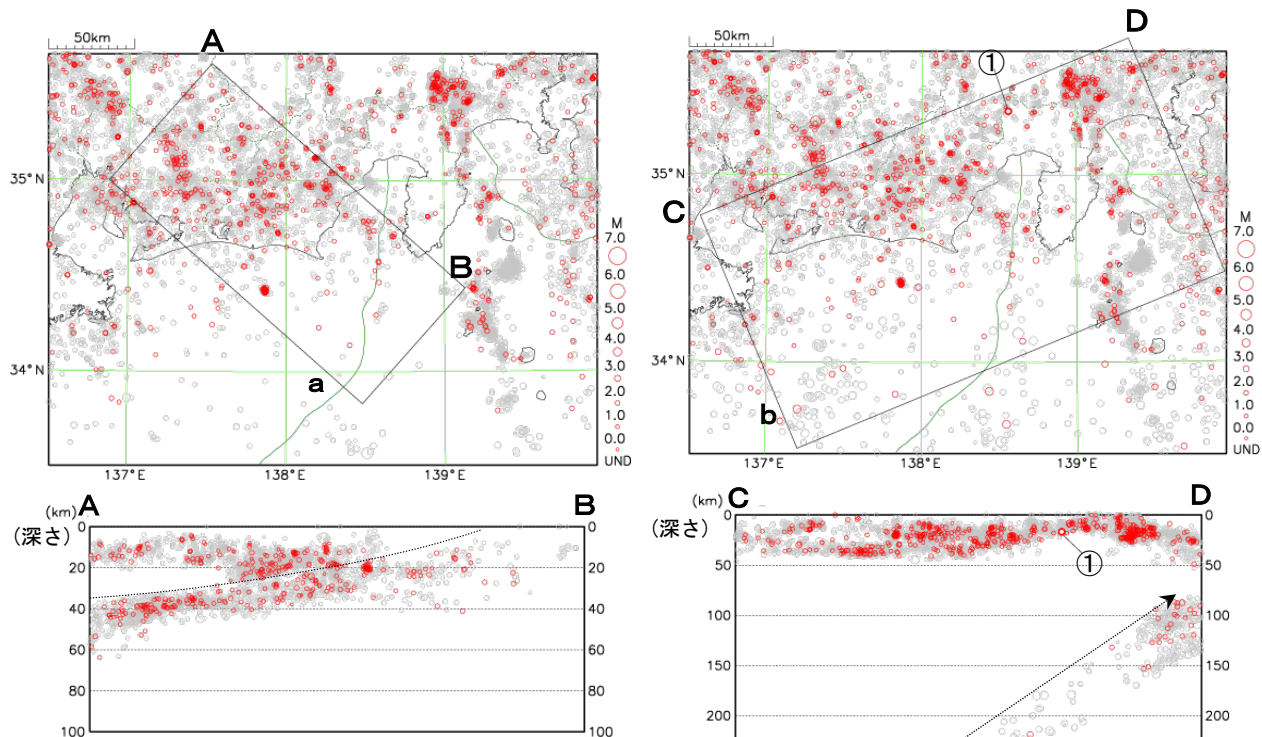


図2 震央分布図（2025年9月1日～2026年8月31日、深さ0～100km、Mすべて）及び断面図（領域a内A－B断面）
2026年8月の地震を赤色で表示
点線は陸側プレートとフィリピン海プレートとの境界のおよその位置

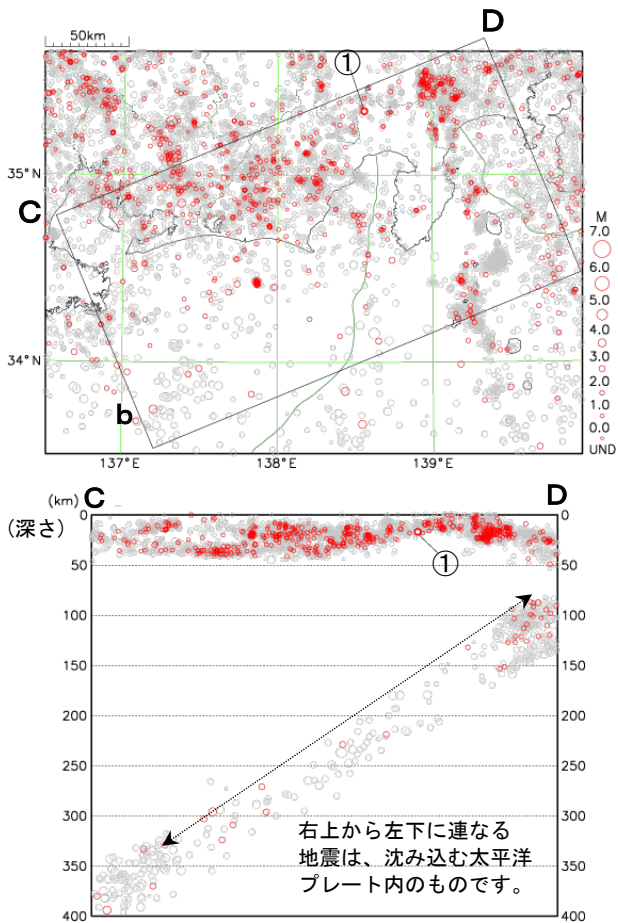


図3 震央分布図（2025年9月1日～2026年8月31日、深さ0～400km、Mすべて）及び断面図（領域b内C－D断面）
2026年8月の地震を赤色で表示
右上から左下に連なる地震は、沈み込む太平洋プレート内のものです。

1. 静岡県及びその周辺

① 静岡県東部の地震（図1、図3の①、表1のa）

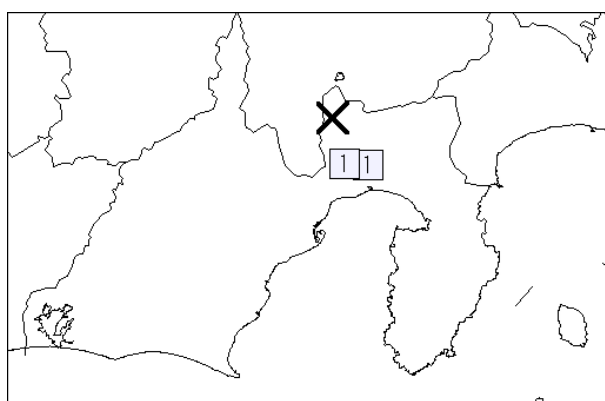


図4 観測点震度分布図（×は震央を示す）

4日12時46分に静岡県東部で発生した地震（M2.4、深さ17km）により、富士宮市及び富士市で震度1を観測しました（図4）。

2. その他の地域（図1の範囲外）

② 滋賀県北部の地震（表1のb）

10日00時48分に滋賀県北部で発生した地震（M4.3、深さ16km）により、近畿地方、東海地方、福井県、石川県、長野県及び岡山県で震度3から1を観測しました（図5）。県内では浜松市で震度1を観測しました（図6）。

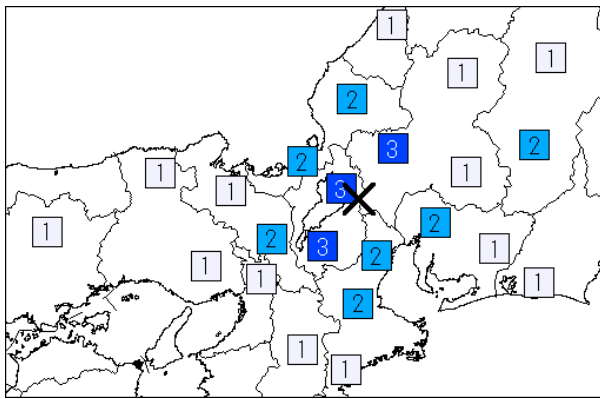


図5 各地域の震度分布図（×は震央を示す）

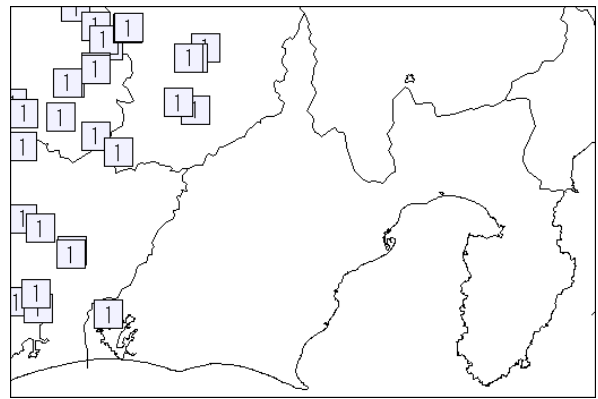


図6 県内及びその周辺の震度分布図

③ 八丈島東方沖の地震（表1のc）

21日21時02分に八丈島東方沖で発生した地震（M5.4、深さ63km）により、伊豆諸島で震度3を観測したほか、関東甲信地方、福島県、宮城県及び静岡県で震度2から1を観測しました（図7）。県内では東部及び伊豆で震度2から1を観測しました（図8）。

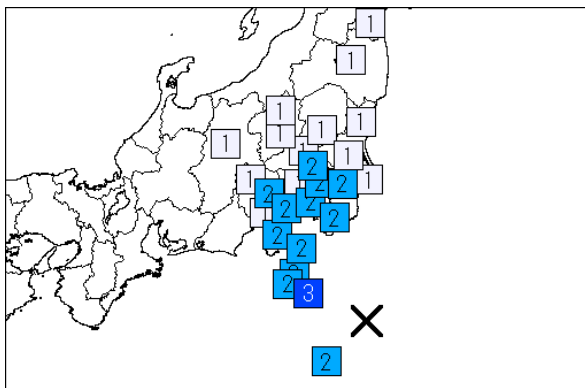


図7 各地域の震度分布図（×は震央を示す）

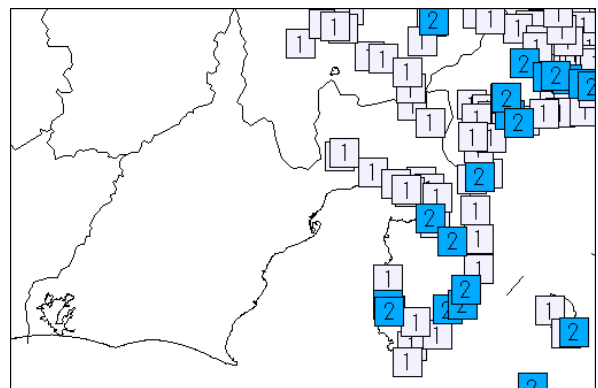


図8 県内及びその周辺の震度分布図

④ 茨城県南部の地震（表1のd）

23日02時00分に茨城県南部で発生した地震（M5.9、深さ68km）により、茨城県、埼玉県、千葉県及び東京都で震度5弱を観測したほか、関東中部地方、伊豆諸島、東北地方、滋賀県及び兵庫県で震度4から1を観測しました（図9）。県内では全域で震度3から1を観測しました（図10）。

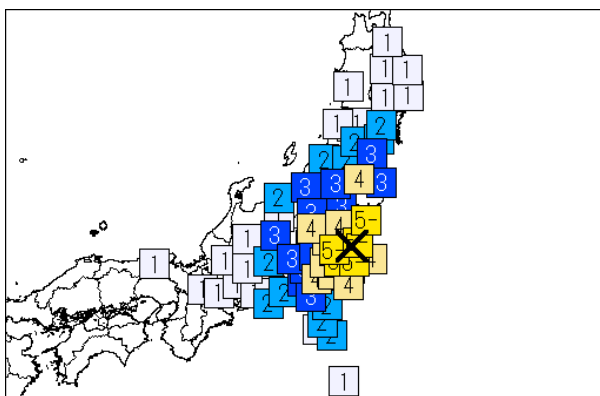


図9 各地域の震度分布図（×は震央を示す）

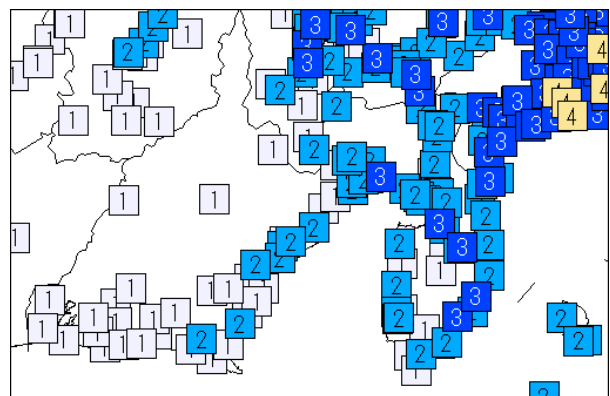


図10 県内及びその周辺の震度分布図

3. 富士山の地震活動

富士山では、深部低周波地震の観測はありませんでした。また、高周波地震を6回観測しました（7月の深部低周波地震は5回、高周波地震は7回）。

「深部低周波地震」「高周波地震」は、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」の「火山性地震・火山性微動に関する用語」：<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/shindou.html> をご覧ください。

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料は、静岡地方気象台ホームページの「静岡県の地震概況」に掲載してあります。

https://www.data.jma.go.jp/shizuoka/shosai/gaikyo_eq/gaikyo_eq.html

問い合わせ先：静岡地方気象台 地震・火山担当 電話 054-286-3521

表 1 [県内震度観測点で震度 1 以上となった地震とその震度]

(記号は以下の各地の震度表中の記号に対応、* 印は自治体、国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、－は運用休止中を示す)

記号	地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度(県外を含む)
a	8月4日12時46分	静岡県東部	35° 20.6′	138° 33.7′	17km	2.4	1 : *富士宮市野中ほか
b	8月10日00時48分	滋賀県北部	35° 19.8′	136° 22.9′	16km	4.3	3 : *滋賀県米原市長岡ほか
c	8月21日21時02分	八丈島東方沖	33° 38.8′	140° 31.6′	63km	5.4	3 : 東京都御蔵島村西川ほか
d	8月23日02時00分	茨城県南部	35° 59.9′	140° 05.7′	68km	5.9	5弱 : *茨城県つくば市小荻ほか

地域	震度観測点	各地の震度					
		a	b	c	d		
静岡県	下田市加増野			1	1		
	*下田市中			1	2		
	*下田市敷根				1		
	*東伊豆町稲取			2	2		
	*東伊豆町奈良本			2	3		
	*河津町田中			2	3		
	南伊豆町石廊崎			1	1		
	*南伊豆町入間				1		
	*南伊豆町下賀茂			1	2		
	*松崎町江奈			1	2		
	*松崎町宮内			2	2		
	*西伊豆町仁科			2	2		
	*西伊豆町宇久須			1	2		
	*西伊豆町一色				1		
	熱海市網代			1	2		
	*熱海市泉			1	2		
	*熱海市中央町				2		
	伊東市大原			1	2		
	*伊東市八幡野			1	2		
	*函南町平井			1	2		
	*伊豆の国市長岡			2	3		
	*伊豆の国市田京			1	2		
	*伊豆市小立野				1		
	*伊豆市土肥				1		
	*伊豆市湯ヶ島				1		
	*伊豆市八幡				2		
	伊豆市中伊豆グラウンド			2	3		
静岡県	*沼津市高島本町			1	2		
	*沼津市御幸町				2		
	*沼津市西間門			1	2		
	*沼津市戸田				2		
	*沼津市原			1	2		
	三島市東本町			1	2		
	*三島市大社町				2		
	御殿場市萩原			1	2		
	*御殿場市茱萸沢				2		
	*御殿場市竈				2		
	*裾野市石脇				2		
	*裾野市佐野				1		
	*静岡清水町						

【防災一口メモ】

国外で発生した大規模噴火が発生した場合に発表する情報について

8月25日アンバエ火山(バヌアツ)、9月5日クラタカウ火山(インドネシア)の大規模噴火を覚知した気象庁は「遠地地震に関する情報」を発表し、火山噴火により発生した気圧波による潮位変化の可能性について注意を呼びかけました。(共に噴火に伴うと考えられる有意な潮位変化は認められませんでした)

令和4年1月15日(日本時間)にフンガ・トンガ・フンガ・ハアパイ火山(トンガ諸島)で発生した大規模噴火により、国内では太平洋沿岸を中心に潮位変化を観測(国内の最大値は、鹿児島県の奄美市小湊で観測された134cm)し、太平洋沿岸で漁業施設の損傷や船の転覆等の被害が発生しました。

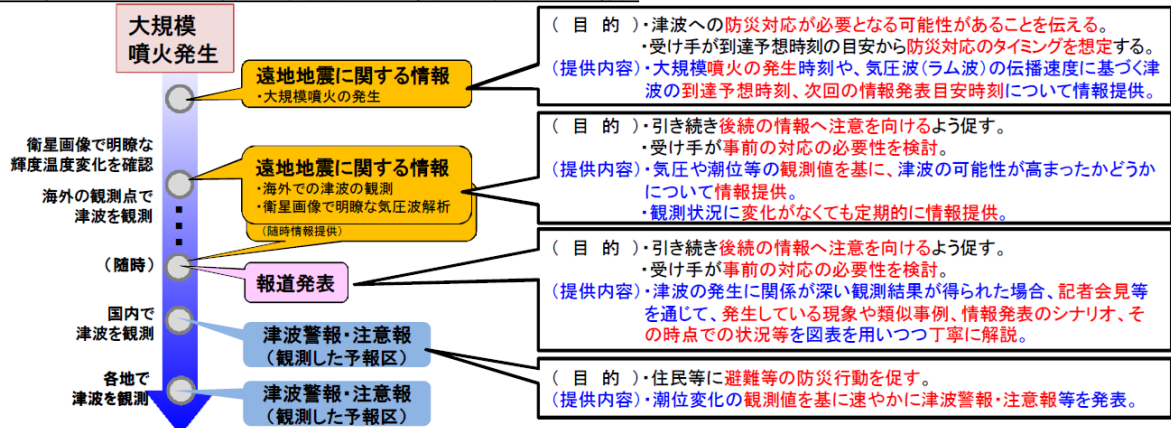
気象庁はこの噴火による潮位変化を踏まえ、大規模噴火による通常地震による津波とは異なる性質の潮位変化の情報について、令和4年5月から「火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会」を開催し、計3回の検討会を経て、火山噴火により発生した気圧波に起因する潮位変化に関する情報として、潮位や気圧の観測結果を基に津波警報・津波注意報の仕組みを活用して注意警戒を呼び掛けるよう報告書をまとめました(令和4年7月)。

火山噴火により発生した気圧波に起因する津波に関する情報の流れ

- 噴煙高度約15,000m以上の大規模噴火が観測された場合に、「津波発生の可能性」について発表。
- 噴火発生から国内で潮位変化を観測するまでの間は逐次情報を更新し、「気象衛星ひまわり」の画像解析で明瞭な変化が観測された場合等、「津波発生の可能性が高まった」場合は、**情報発表に加えて記者会見**を行うなど、丁寧な解説。
- 国内で潮位変化を観測した場合、**基本として、潮位観測値が津波警報・注意報の発表基準を超えたタイミングで発表**。ただし、**明瞭な気圧変化が観測され、それに整合するタイミングで明瞭な潮位変化が観測された場合等には、基準に達しなくても津波注意報を発表**。津波警報は、基準を超えたタイミングで発表。
- 気圧波(ラム波)の到達予想時刻を過ぎた地域に対しては、「潮位変化が観測されていなくても、引き続き注意を継続する」よう呼びかける。気圧波(内部重力波)による潮位変化が観測されなければ津波の心配はない※。

比較的日本から遠い火山の噴火で、津波や気圧変化が観測された場合

※地形変化等による潮位変化の可能性は別途考慮。



気象庁は検討会報告書を踏まえ、

- ・気象衛星ひまわりの解析結果も用いた情報提供や、次回情報発表目安時刻の提供
- ・津波の発生に関係が深い観測結果が得られた際には、記者会見等での丁寧な解説・情報提供を行う等の運用の改善を令和4年7月27日より行っています。

関連リンク

火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方検討会

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/jishin/tonga-kentoukai/tonga-kentoukai.html>

火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方とそれを踏まえた情報発信の運用改善について

https://www.jma.go.jp/jma/press/2207/27a/tonga_kentoukai_houkokusho.html